

事前質問に対する回答

No	資料	該当箇所	質問者	回答者	質問・回答	内容
1	第1回モニタリング委員会 資料5	No4	笹井委員	運営権者	質問	初年度は開業告知を中心とした広報展開となっているが、これらの業務に関して独自にKPI設定などはされているか。今後の広報戦略について、考えを教えてください。
					回答	現在効果測定を行い、実態把握を進めている段階で具体的な数値設定はしていません。今後、継続して有明アリーナの提供する価値について発信していきたいと考えていますが、事業収支に直結する催事の編成への影響は限定的であることから、①レストラン・ジムの利用促進、②交通アクセスに関する広報に取り組む必要を感じています。
2	第1回モニタリング委員会 資料5	No4	澤井委員	運営権者	質問	オリンピック・パラリンピックのレガシーとしてのブランディングについてどの程度意識し、企画検討されているか。
					回答	東京2020大会のために建設されたアリーナとして、それに相応しい(1万人規模)スポーツ大会および文化イベントを開催し続けることを意識しています。
3	第1回モニタリング委員会 資料5	No7	山口委員	運営権者	質問	令和4年度は、メインアリーナとサブアリーナの供用開始に合わせて、職員研修を実施したと思われるが、令和5年度以降はどのようなスケジュールで実施する予定か教えてください。
					回答	令和5年度は、DEI研修、イベント時における施工や運営での事故トラブル事例の報告会、コンプライアンス研修、情報セキュリティ研修等を予定しています。
4	第1回モニタリング委員会 資料5	No7	山口・千葉委員	運営権者	質問	研修ごとの受講対象者数に対する受講率を教えてください。
					回答	後日、録画の視聴を含めると100%となります。
5	第1回モニタリング委員会 資料5	No7	山口委員	運営権者	質問	現在までの運営状況を踏まえ、研修の種類や内容について見直しを行ったか、行った場合にどのような見直しを行ったか教えてください。
					回答	行っていませんが、ICTのリテラシー向上やSDGs研修を検討します。

6	第1回モニタリング委員会 資料5	No8	澤井委員	運営権者	質問	「大規模スポーツ大会」の誘致について、課題は何か。オリパラ開催種目(バレーボール、車いすバスケットボール等)の大会誘致は難しいか。
					回答	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、有観客での大規模スポーツ大会の開催そのものが非常に難しい環境にあります。バレーボール、車いすバスケの大会誘致を意識しつつも、各競技団体、チームと密にコミュニケーションを取りながらスポーツイベントの誘致を目指していきたいと考えています。
7	第1回モニタリング委員会 資料5	No8	山口委員	運営権者	質問	都民開放DAYとして10月1日、1月4日に無料開放を実施し、地域住民を中心に利用いただいたとのことだが、①各日の来場者数は何名だったか、②都民開放DAYにおいてどのようなイベントを実施したか、教えて欲しい。
					回答	①10月1日は約80名、1月4日は約40名の来場実績です。 ②イベント内容としては、バスケットボールゴールを2面分設置し、自由参加のシュート体験や、利用者持ち込みによるバドミントンの実施などサブアリーナを開放し、来場者に自由に楽しんでいただいております。
8	第1回モニタリング委員会 資料5	No9	千葉・笹井委員	運営権者	質問	ジム・スタジオ等運營業務について、周辺の競合の存在や立地の問題から、やや利用者の増加が伸び悩んでいる状況との認識だが、今後の利用者増加に向けた施策等の改善策について検討されている内容を教えて欲しい。
					回答	他事業社とタイアップした定期的な教室の開催(未就学児向け教室「忍者ナイン」)やメインアリーナスポーツ利用時のジム利用促進などを検討しています。
9	第1回モニタリング委員会 資料5	No9	澤井委員	運営権者	質問	地域住民の利用を推進するための方策は何か考えているか。
					回答	SNSでのプロモーション展開を実施しております。また、一般利用客だけではなく、スポーツジム内で未就学児向けのスポーツ教室を実施し、地域住民の方々にスポーツジムに来場してもらう施策を実施しています。
10	第1回モニタリング委員会 資料5	No10	澤井委員	運営権者	質問	レストラン、カフェ、売店について、アリーナ運営における位置づけ、経営の目的、マーケティング戦略は何か考えているか。

					回答	飲食事業は、有明アリーナの収益事業であるだけでなく、有明アリーナの観戦環境、体験価値を向上させる一つの重要なカギを握るという認識をしております。ただ、施設の設計上、売店のオペレーションに限界があるため、混雑緩和などに工夫が必要と考えています。屋外キッチンカーの積極的な活用も一つのアイデアとして考えています。
11	第1回モニタリング委員会 資料5	No10	千葉委員	運営権者	質問	メモリアルコーナーについて、当初の予定どおりに設置できていない状況だが、オリンピック施設のレガシーとしては、少々寂しい印象を受けている。「1Fレストランなど利用者の目に触れやすい箇所へアーカイブ資産の展示を行えるよう調整を行っている。」とのことだが、この点についての現在の具体的な予定について教えて欲しい。(確保するスペースの場所、面積、設置する資産の内容等)
					回答	1Fレストランの一部にオリンピック・パラリンピックで使用したバレーボール、車いすバスケットボールのサイン入りボールの設置を予定しております。
12	第1回モニタリング委員会 資料5	No13	山口委員	運営権者	質問	急病人への対応が6件行われたとのことだが、急病人の症状はどのようなものだったのか教えて欲しい。
					回答	暑さによる熱中症、躓いて転ぶ、精神疾患が事例としてありました。暑さ対策としては館内の冷房に気を配っていますが、傾向として会場前の時間帯で、なおかつ朝から体調が悪かったという案件がほとんどになります。
13	第1回モニタリング委員会 資料5	No14	山口委員	運営権者	質問	武蔵野大学とご当地ゆるスポーツを開発し、メインアリーナで実施済みとのことだが、①どのような「ご当地ゆるスポーツ」を開発し、②どのような形で実施したか(イベント、恒常的な実施等)、教えて欲しい。
					回答	「有明突風(トップウセン) 船排球」という、キャスター付きの椅子に座りながら、風船をうちわで仰いでバレーボールのような競技をするものになります。有明アリーナで行われたバレーボールと車いすバスケットをモチーフに、大人から子供まで楽しめるゆるスポーツとなります。TUBCの公式戦のサブイベントとして来場者に体験して頂きました。有明アリーナで行われるスポーツイベントと併設する形で実施をしていく予定です。

14	第1回モニタリング委員会 資料5	No18	千葉委員	運営権者	質問	運転監視・日常巡視点検について、「令和4年度は不具合発生によるイベントへの影響は生じていない。」とのことだが、イベントへの影響は生じない程度の不具合は発生しているか。もし発生している場合、不具合の内容及びそれに対する対応状況について教えて欲しい。
					回答	有明アリーナメンテナンス通路内の白熱灯の不点灯に伴う交換対応など軽微な不具合対応は実施しております。
15	第2回モニタリング委員会 資料4	損益計算書	鈴木委員	運営権者	質問	運営業務に係る外注費約482百万円を、売上原価ではなく販売費及び一般管理費に計上することの妥当性について、説明して欲しい。
					回答	有明アリーナの主な収益は、顧客がアリーナ施設を利用することによる施設利用料となっております。 売上原価は、その施設利用のための直接的な費用となりますので、各ライブで発生した費用(当日の運営のための人件費、音響機材費等)を売上原価として計上しております。一方で、外注費として計上しているものは、開業準備業務委託費等のいずれも間接的な費用となっております。
16	第2回モニタリング委員会 資料4	個別注記表	鈴木委員	運営権者	質問	「取引条件は、市場実勢を勘案し」とあるが、市場実勢をどのように確認されているか、具体例を教えて欲しい。
					回答	当初計画から予定している事業期間に渡って必要となる契約については、入札前協定に従って契約しており、株主各社合意の契約となっております。 一方で、ICT 追加投資ディレクション・アリーナ工事等の単発で発注する業務については、ICT協議会での検討や様々な企業から提案をいただき、妥当性を判断したうえで決定しています。 ライブ事業運営については、構成企業が類似業務の実績と比較を実施することで金額の確認を行っています。

17	有明アリーナ管理運営事業候補者の提案概要	3基本方針方針②	鈴木委員	運営権者	質問	「本施設を拠点に新たな文化を創出し、有明レガシーエリアの街づくりに貢献」とされているが、現状をSPCとしてどのように評価しているか、教えて欲しい。
					回答	BリーグクラブTUBCの活動や、車いすバスケット EXCUSEの体験教室などをサポートして、地域の人々を繋ぐ役割を担っております。また、有明GYM-EXや有明アーバンスポーツパークと連携した地域イベントなどの開催を目指しております。
18	有明アリーナ管理運営事業候補者の提案概要	3基本方針方針③	鈴木委員	運営権者	質問	「継続的なIT投資で25年間にわたりアジアを代表する最先端スマートアリーナとしての地位を確立」とされていましたが、現状をSPCとしてどのように評価しているか、教えて欲しい。
					回答	メインアリーナ大型ビジョン、コンコースサイネージ・サブアリーナプロジェクターなどは主催者に利用されており、高い評価をいただいております。高密度Wi-Fiは利用率が伸び悩んでおりますが、認知度による影響と考えています。
19	有明アリーナ管理運営事業候補者の提案概要	事業実施体制に対する提案	鈴木委員	運営権者	質問	「公共性・透明性を確保するガバナンス体制」とあるが、具体的な取組みについて教えて欲しい。
					回答	代表企業は監査室という関連会社を含めて監査する専門部署を有しています。常勤監査役を代表企業から派遣し、日常的な業務監査を実施しています。 常勤監査役は代表企業の監査室に日常的に業務実施状況を報告し、問題がないことを確認するとともに、他の関連会社での事案について、情報交換を実施しています。 また、代表企業に対して四半期ごとに財務諸表を提出し、予算と実績の乖離について報告を行っています。